⑤特定健康診査事業
⑥特定保健指導事業

町民福祉部
町民課

高齢化の急速な進展に伴って！

健康寿命を延ばし、医療費の抑制

↓

定期的な**健康診査**

↓

重症化を防ぐ**保健指導**

特定健診・特定保健指導の目的

メタボリックシンドロームに着目

健診受診 → 保健指導参加 → 生活習慣病予防

- 保健指導対象者抽出
- 生活習慣改善
- 医療費削減

法令や計画の位置付け

- 高齢者の医療の確保に関する法律 （平成20年４月施行）
- 第２期大磯町国民健康保険特定健康診査等実施計画
- 大磯町国民健康保険特定健康診査等実施要綱

対象者

- 40歳から74歳までの国民健康保険加入者

受診の仕方

- 施設健診と集団健診の２種類

事業費の財源

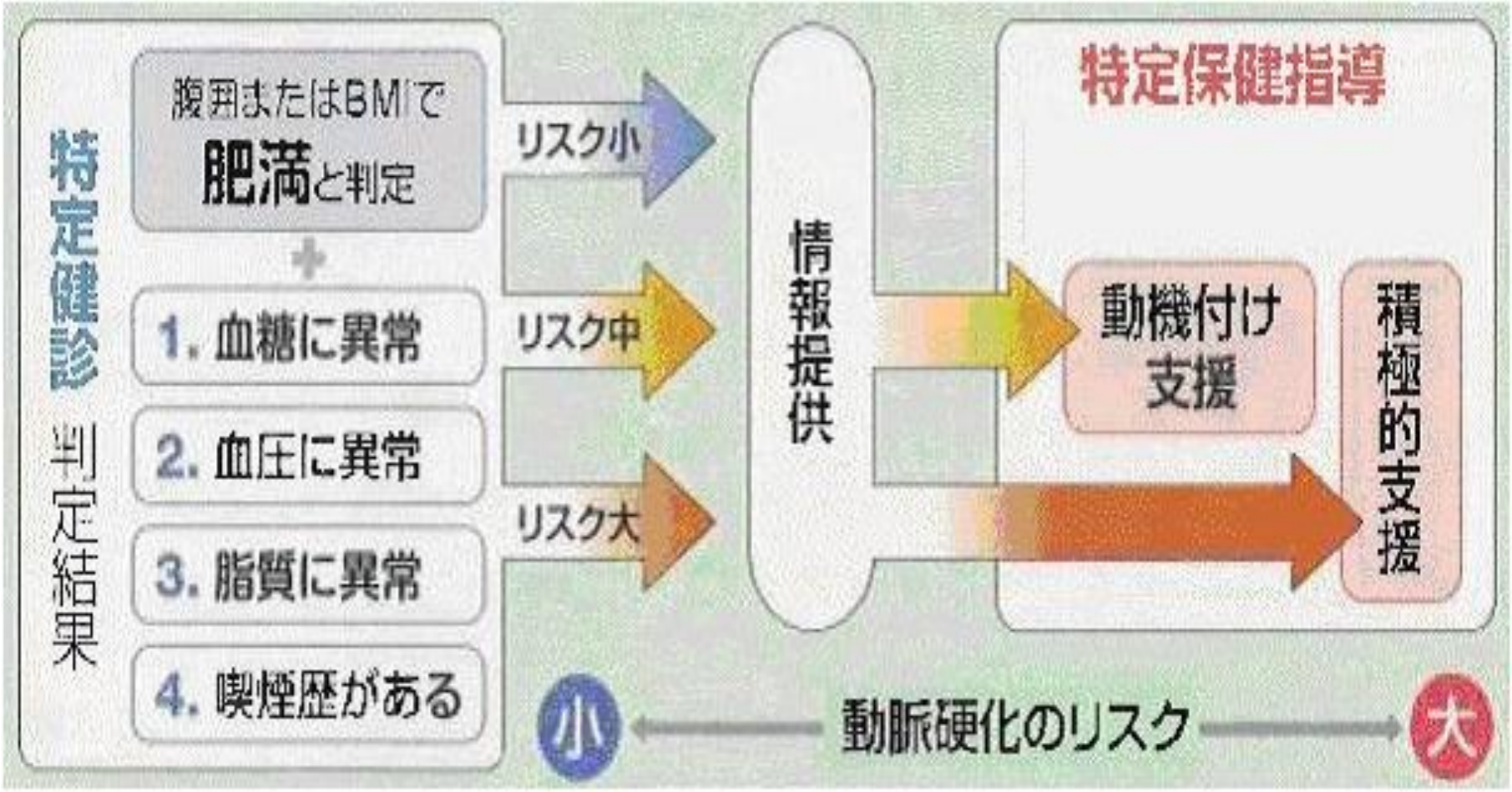
- 補助対象事業費に対して国から1/3、県から1/3

特定健康診査について

特定健診基本項目

- 診察
- 測定（血圧・腹囲など）
- 尿検査（糖・蛋白）
- 血液検査
  （血中脂質・肝機能・代謝系）

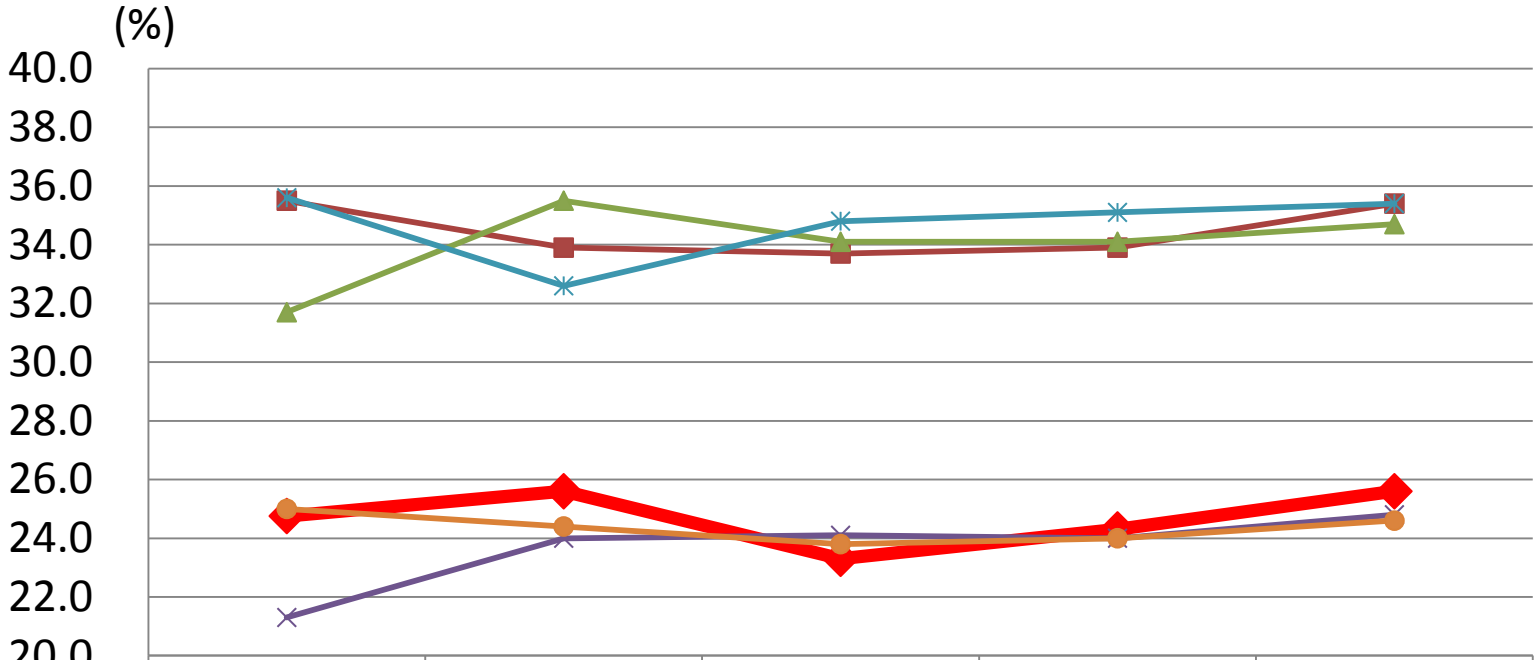
特定保健指導について


特定健診 判定結果
腹囲またはBMIで
肥満と判定
＋
1. 血糖に異常
2. 血圧に異常
3. 脂質に異常
4. 喫煙歴がある
リスク小
リスク中
リスク大
情報提供
特定保健指導
動機付け支援
積極的支援
小
動脈硬化のリスク
大

平成24年度受診率等の比較

	大磯町 （対象者6,911人） （受診者数1,770人）	県央湘南4町 （愛川町・寒川町・二宮町　・葉山町）	県市町村平均	全国市町村平均
特定健診受診率（%）	25.6	32.8	24.6	33.7
特定保健指導参加率（%）	15.7	28.2	12.1	19.9

特定健診受診率の推移

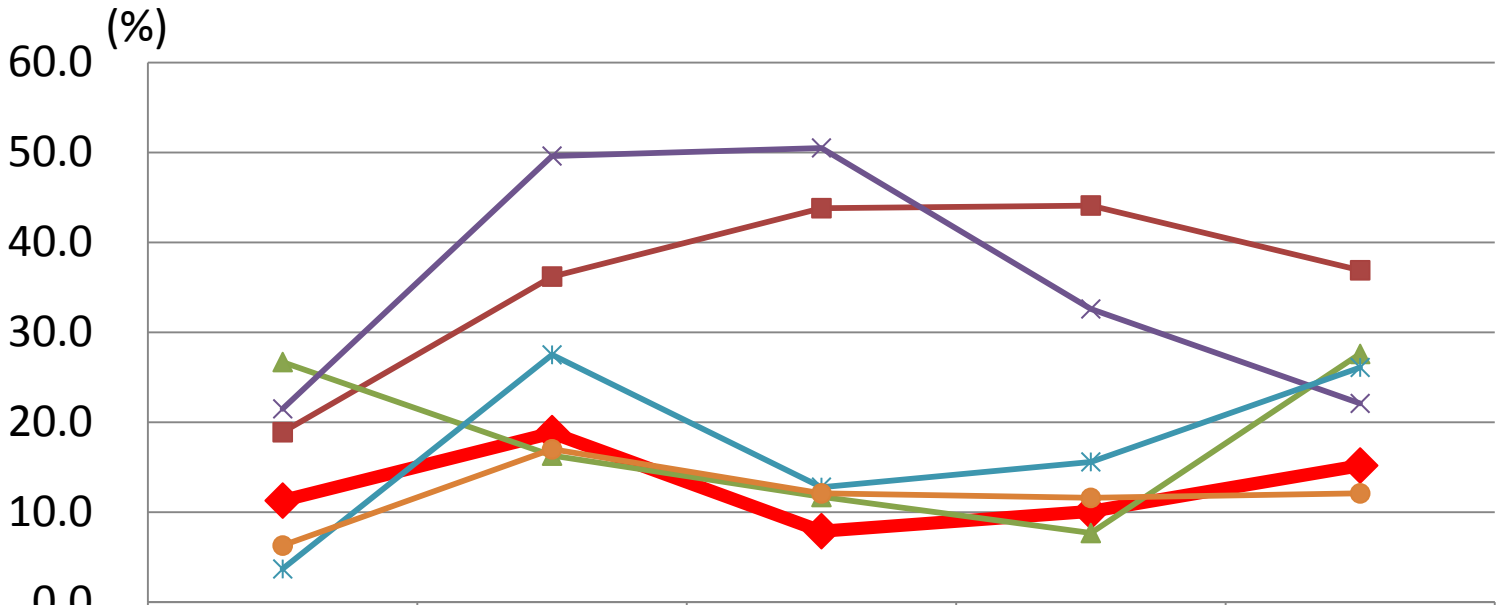


	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
大磯町	24.8	25.6	23.3	24.3	25.6
二宮町	35.5	33.9	33.7	33.9	35.4
寒川町	31.7	35.5	34.1	34.1	34.7
葉山町	21.3	24.0	24.1	24.0	24.8
愛川町	35.6	32.6	34.8	35.1	35.4
県市町村の平均	25.0	24.4	23.8	24.0	24.6

出典：神奈川県国民健康保険事業状況報告

(%)

特定保健指導参加率の推移

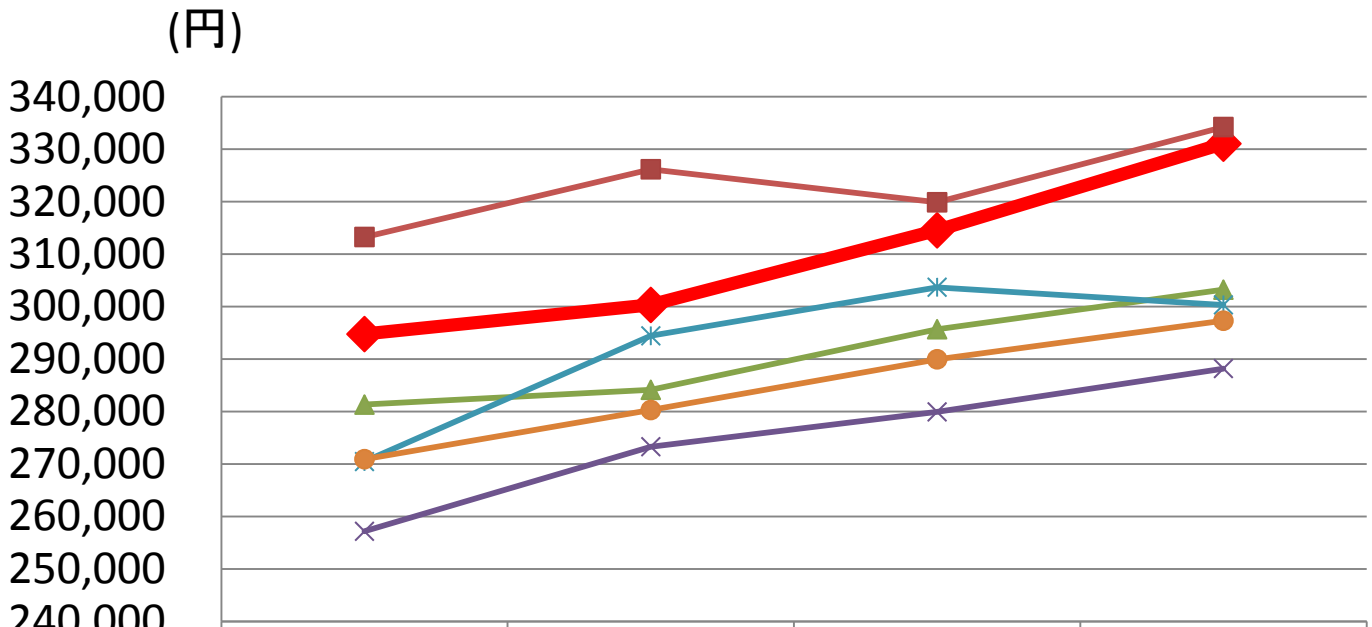


	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
大磯町	11.3	18.8	7.9	10.1	15.2
二宮町	18.9	36.2	43.8	44.1	36.9
寒川町	26.7	16.3	11.7	7.7	27.6
葉山町	21.5	49.6	50.5	32.6	22.1
愛川町	3.7	27.5	12.8	15.6	26.1
県市町村の平均	6.3	17.0	12.1	11.6	12.1

(%)

出典：神奈川県国民健康保険事業状況報告

一人当たり医療費の推移



	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
大磯町	294,751	300,308	314,525	331,040
二宮町	313,256	326,165	319,872	334,213
寒川町	281,320	284,135	295,683	303,219
葉山町	257,166	273,295	279,926	288,184
愛川町	270,456	294,421	303,682	300,321
県市町村平均	270,912	280,285	289,951	297,302

前期高齢被保険者数（65歳～74歳）の割合

- 二宮町：41.2%
- 大磯町：38.9%
- 寒川町：34.4%
- 愛川町：30.7%
- 葉山町：35.3%

出典：神奈川県国民健康保険事業状況報告　(円)

特定健診の課題

疾病等の状況から見える課題

- 生活習慣病に係る疾病が上位

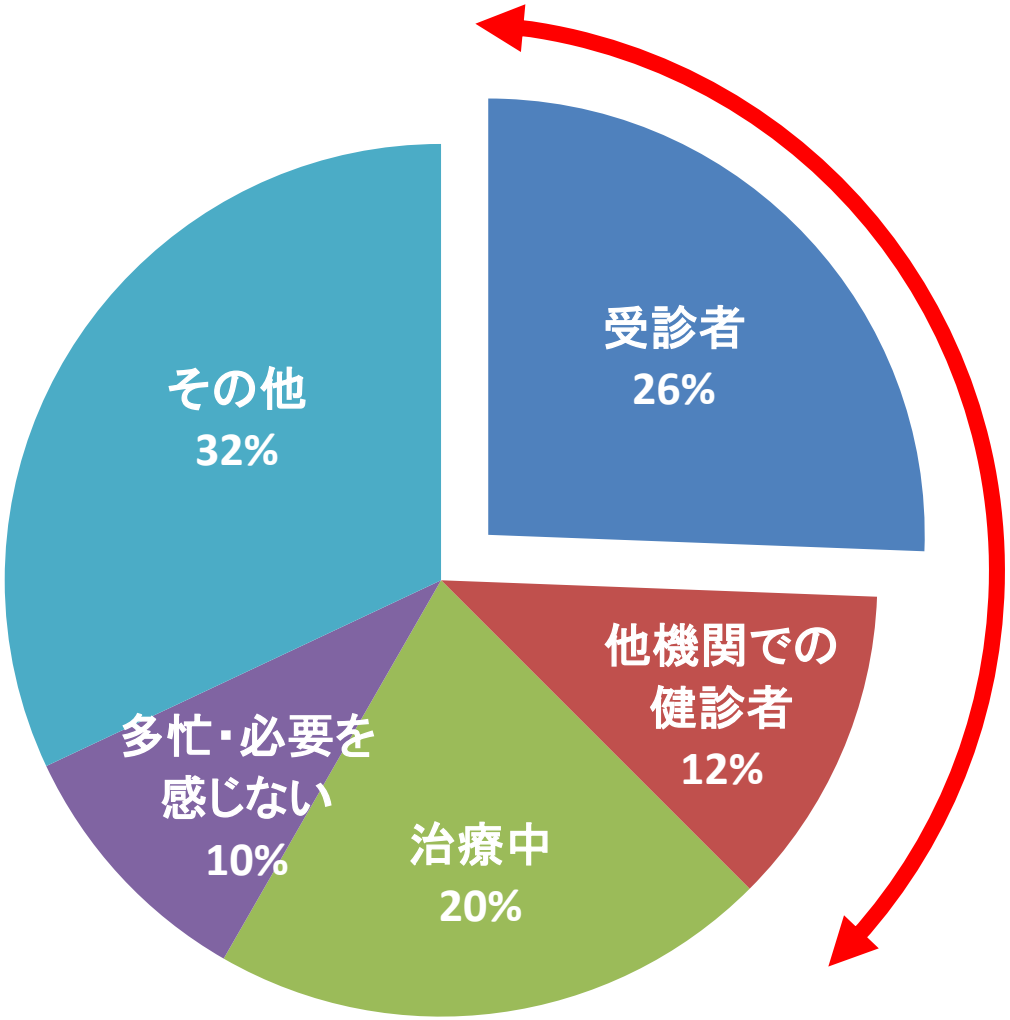
未受診の理由から見える課題

- 「健康だから必要ない」、「多忙」という回答等がある

受診者から見える課題

- 男性および若い世代の受診率が低い

特定健診受診者・未受診勧奨の結果からわかること



健康意識の高い人

38%

特定健診の今後の取組

①受診機会の確保

・受診項目等について
関係機関などと協議

②受診勧奨の充実

・わかりやすい受診案内
・イベント等を活用

③情報提供方法の工夫

・広報等の媒体活用
・「おあしす24健康おおいぞ」
等の保健事業を活用

特定保健指導の課題

健診結果説明会等から見える課題

- 健診結果の内容について理解している人が少ない

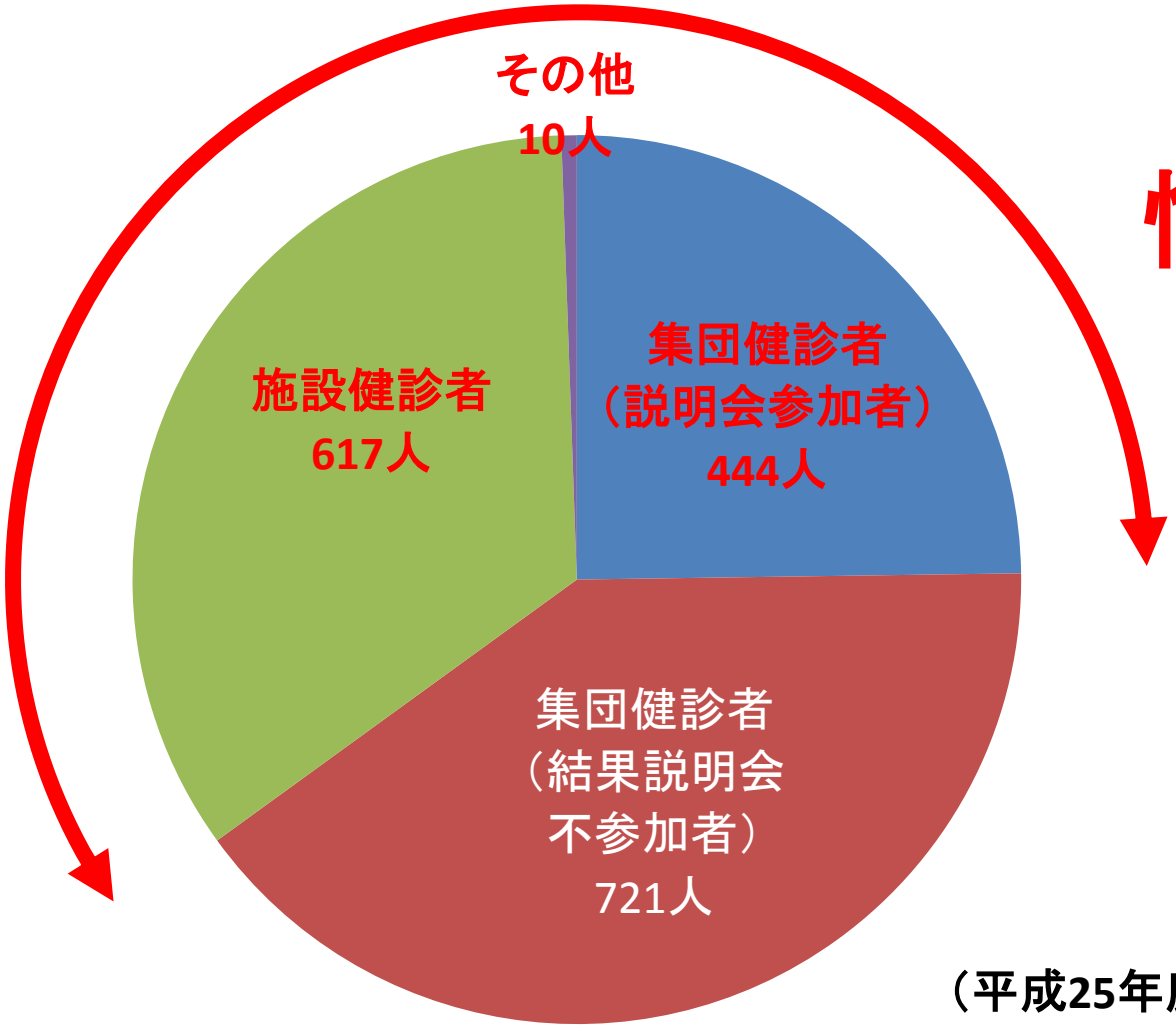
利用勧奨の方法の検討

- 利用者の実情に応じた指導体制づくり

継続的な支援の必要性

- 特定保健指導終了時、改善したが再度支援対象者になってしまう

特定保健指導につながる情報提供



情報提供者

１，０７１人
（５９．８％）

（平成25年度特定健診結果より）

特定保健指導の課題

健診結果説明会等から見える課題

- 健診結果の内容について理解している人が少ない

利用勧奨の方法の検討

- 利用者の実情に応じた指導体制づくり

継続的な支援の必要性

- 特定保健指導終了時、改善したが再度支援対象者になってしまう

特定保健指導の今後の取組

①必要性や効果の周知

・「おあしす24健康おおいぞ」等の保健事業とKDBを活用

②日常生活で定着・工夫

・町保健事業等を利用し対応するよう担当課と連携をとる

③指導効果の向上

・特定保健指導プログラムの質の向上

④生活習慣病の重症化予防

・保健事業等との連携により戸別訪問でフォロー

・神奈川県のモデル事業活用

①「おあしす24健康おおいぞ」

②おあしす健診結果説明」

③生活習慣病重症化予防保健指導モデル事業「プレミアムおあしす」

国保データベースシステム（KDB）活用

地域における疾病予防のための取組

１　地域の状況を把握

〇特定健診の結果
〇生活習慣病の分析
〇健康課題

２　重点課題の抽出

〇予防可能な疾病を選択

３　重点課題への対策

〇選択
〇疾病
〇重点的な保健事業

４　効果を確認

〇データ分析により効果を判定

特定保健指導の今後の取組

①必要性や効果の周知

・「おあしす24健康おおいぞ」等の保健事業とKDBを活用

②日常生活で定着・工夫

・町保健事業等を利用し対応するよう担当課と連携をとる

③指導効果の向上

・特定保健指導プログラムの質の向上

④生活習慣病の重症化予防

・保健事業等との連携により戸別訪問でフォロー

・神奈川県のモデル事業活用